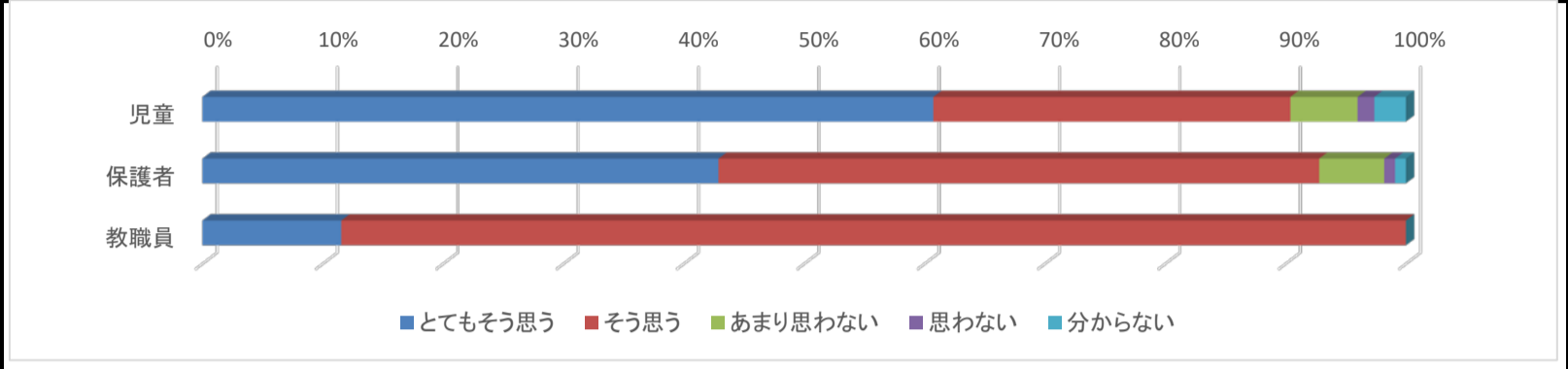


令和3年 鷹岡小学校 前期 学校評価まとめ

1 学校生活全般について

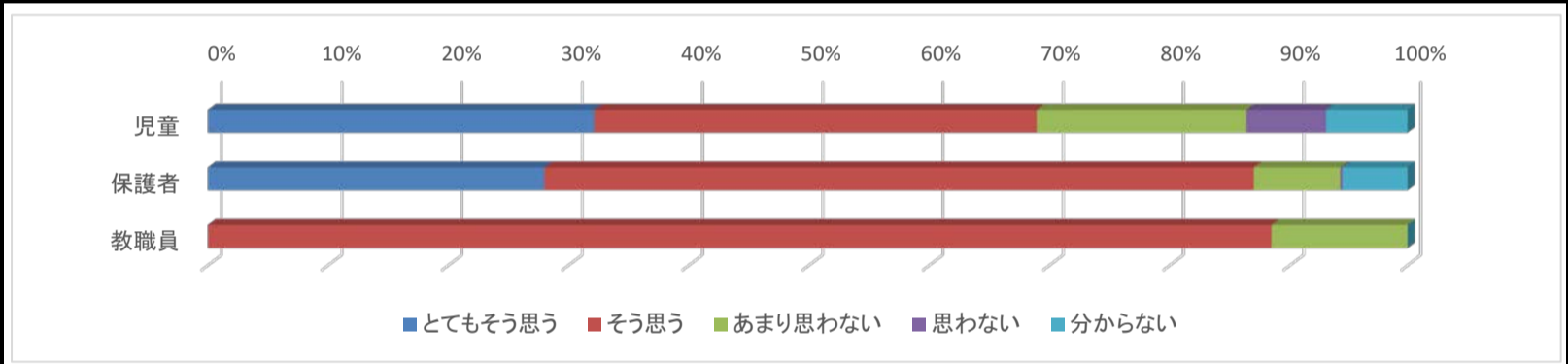
①【保護者】【教職員】子供は、学校が楽しいと感じている。
【児童】学校は楽しい。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	61%	30%	6%	1%	3%
保護者	43%	50%	5%	1%	1%
教職員	12%	88%	0%	0%	0%



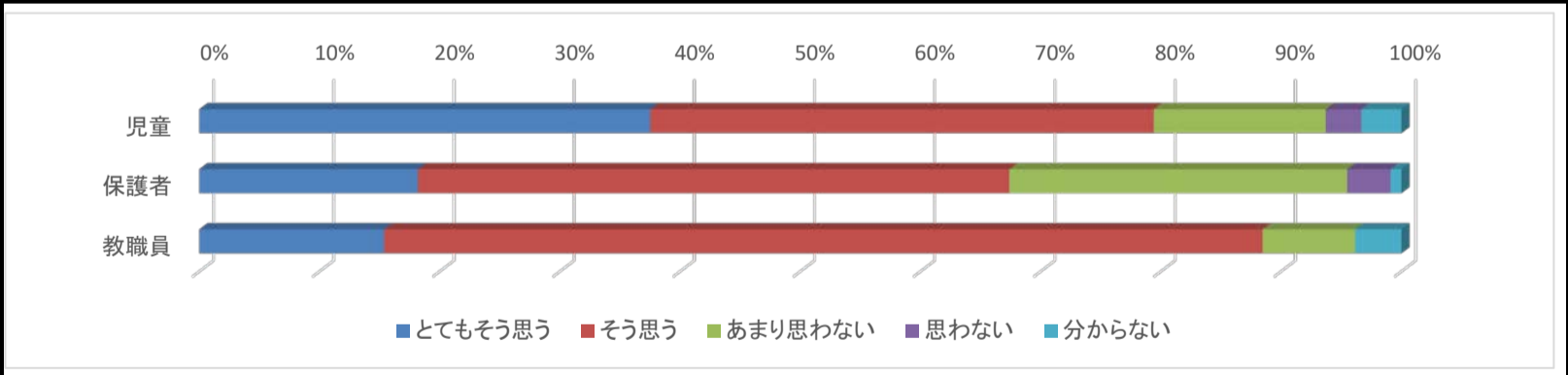
②【保護者】【教職員】子供は、自分には良いところがあると思っている。
【児童】自分には、よいところがあると思う。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	32%	37%	17%	7%	7%
保護者	28%	59%	7%	0%	6%
教職員	0%	88%	12%	0%	0%



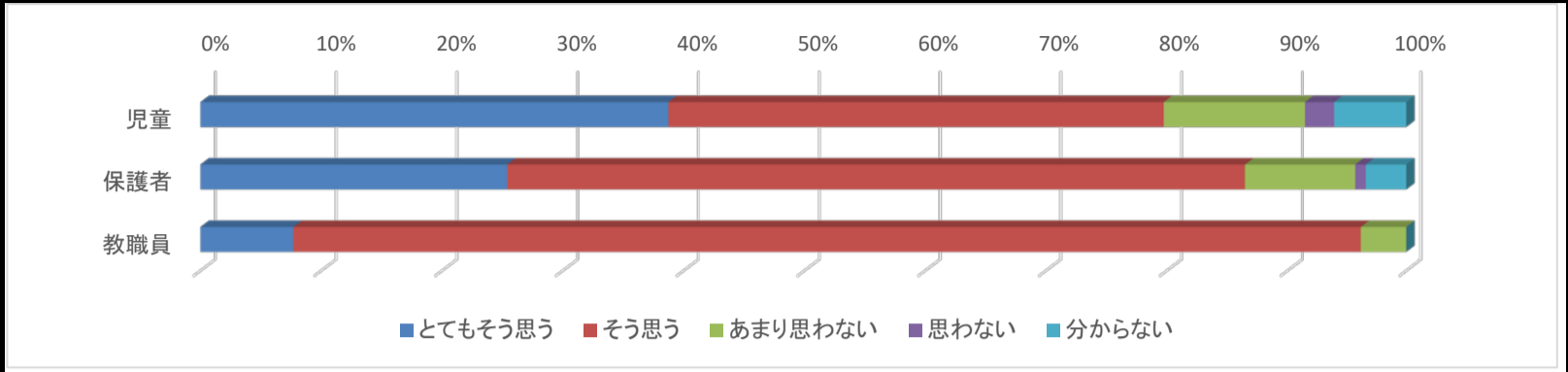
③【保護者】【職員】子供は、普段から進んで学習や運動をしようとしている。
【児童】進んで、勉強や運動をしている。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	38%	42%	14%	3%	3%
保護者	18%	49%	28%	4%	1%
教職員	15%	73%	8%	0%	4%



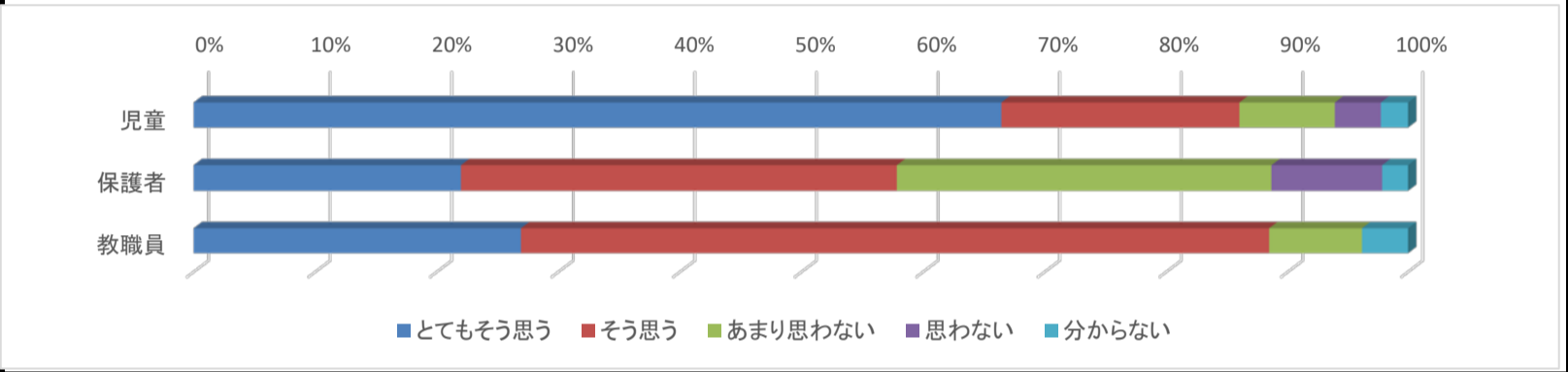
④【保護者】【職員】子供は、友達の思いを受け止めたり、優しく声をかけたりすることができる。
 【児童】友達の気持ちを聞いたり、優しく言葉をかけたりすることができる。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	39%	41%	12%	2%	6%
保護者	25%	61%	9%	1%	3%
教職員	8%	88%	4%	0%	0%



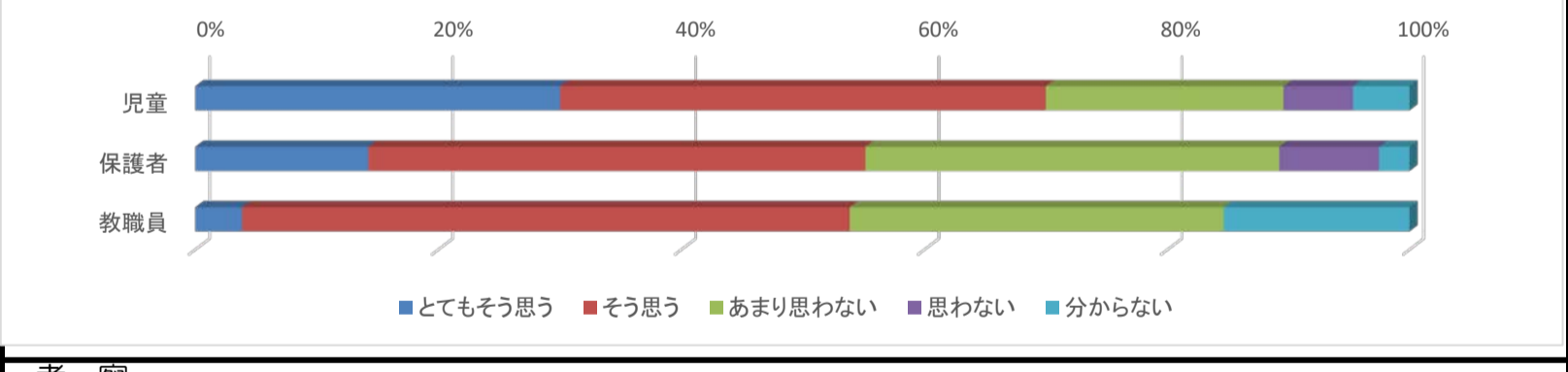
⑤【保護者】【教職員】子供は、読書を楽しんでいる。
 【児童】読書は楽しい。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	66%	20%	8%	4%	2%
保護者	22%	36%	31%	9%	2%
教職員	27%	62%	8%	0%	4%



⑥【保護者】【教職員】子供は、家庭学習を工夫して頑張っている。
 【児童】家での学習を工夫して頑張っている。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	30%	40%	20%	6%	5%
保護者	14%	41%	34%	8%	3%
教職員	4%	50%	31%	0%	15%



考 察

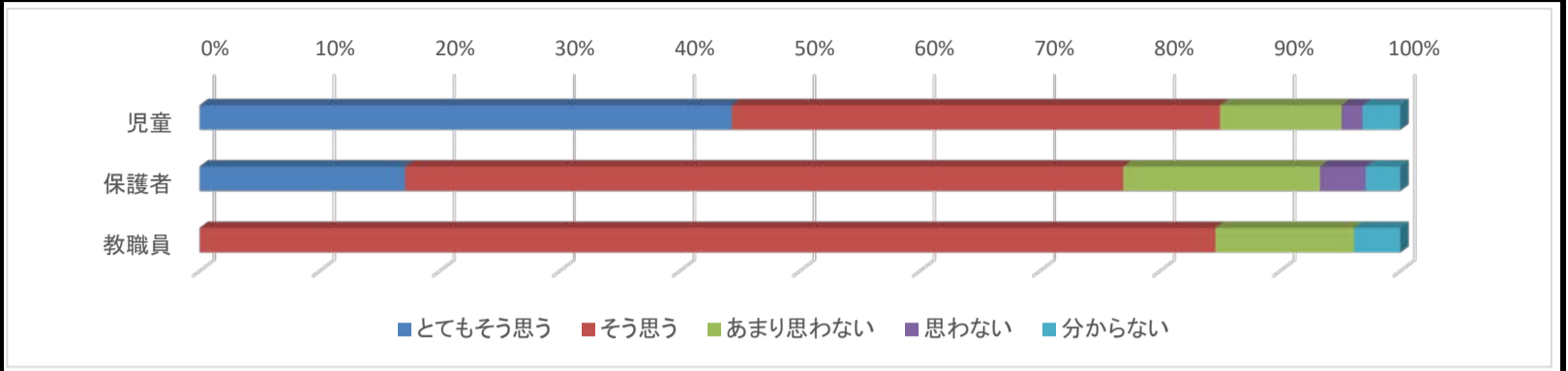
設問①や設問④から、多くの子供たちが友達と仲良く楽しい学校生活を送れていると児童・保護者・教職員ともに感じています。コロナ禍で制限が多い中ですが、子供たちは感染対策を取りながら、今できる活動を協力し合いながら楽しんで行っています。そんな姿が、ご家庭でも子供の姿を通して伝わっていることをうれしく感じます。今後も、鷹岡小学校に通うすべての子供が、楽しいと思えるような学校づくりを目指していきます。

設問②を見ると、保護者・教職員の評価に比べ、児童の評価がやや低く、自己肯定感が低い傾向にあることが伺えます。保護者や教職員は、子供たちは良いところをたくさんもっていると知っていますが、それに気付いていない子が多くいることが分かります。きちんと伝えていくことが必要だと感じました。また、設問③や設問⑤を見ると、児童と保護者の評価にやや差があります。進んで学習することや、読書を楽しむことなど子供たちに期待を込めて厳しめに評価をしてしまいがちです。子供たちのできている点に目を向け、一人一人の個性を伸ばしていけるような関わり方を、学校と家庭が連携しながら進めていきたいと思ひます。

2 学習面について

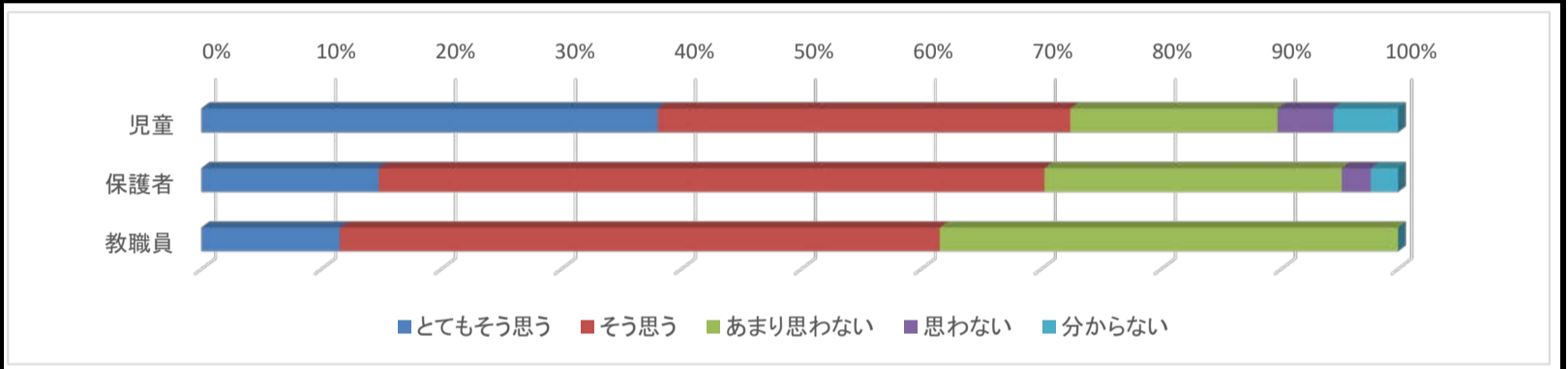
⑦【保護者】【教職員】子供は、授業で勉強したことが分かっている。
【児童】授業で学習したことがわかる。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	44%	41%	10%	2%	3%
保護者	17%	60%	16%	4%	3%
教職員	0%	85%	12%	0%	4%



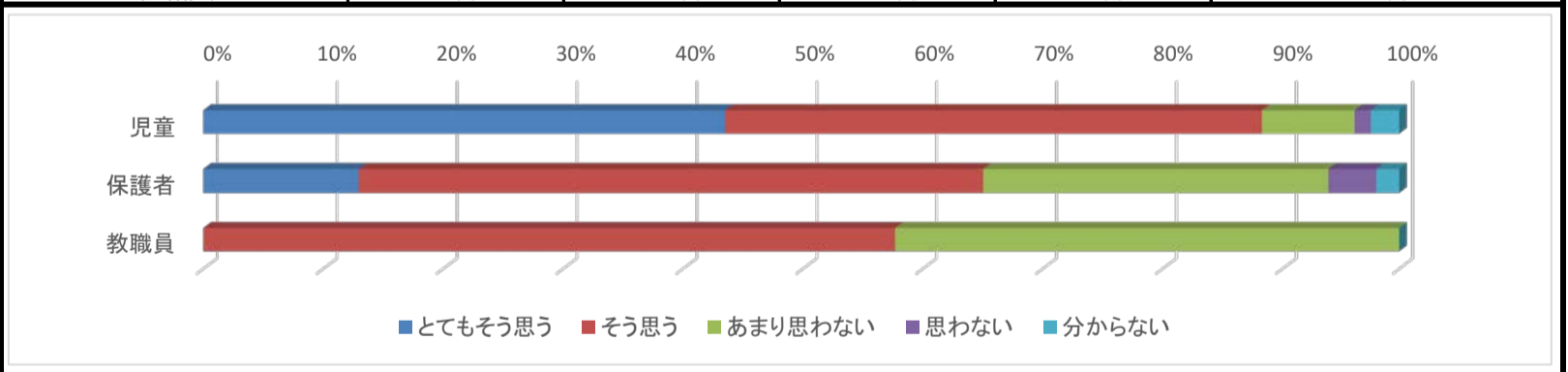
⑧【保護者】【教職員】子供は、自ら問題を見つけ、工夫して粘り強く解決しようとしている。
【児童】授業では自分で見つけた「はてな」をじっくり考えている。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	38%	34%	17%	5%	6%
保護者	15%	55%	25%	3%	2%
教職員	12%	50%	38%	0%	0%



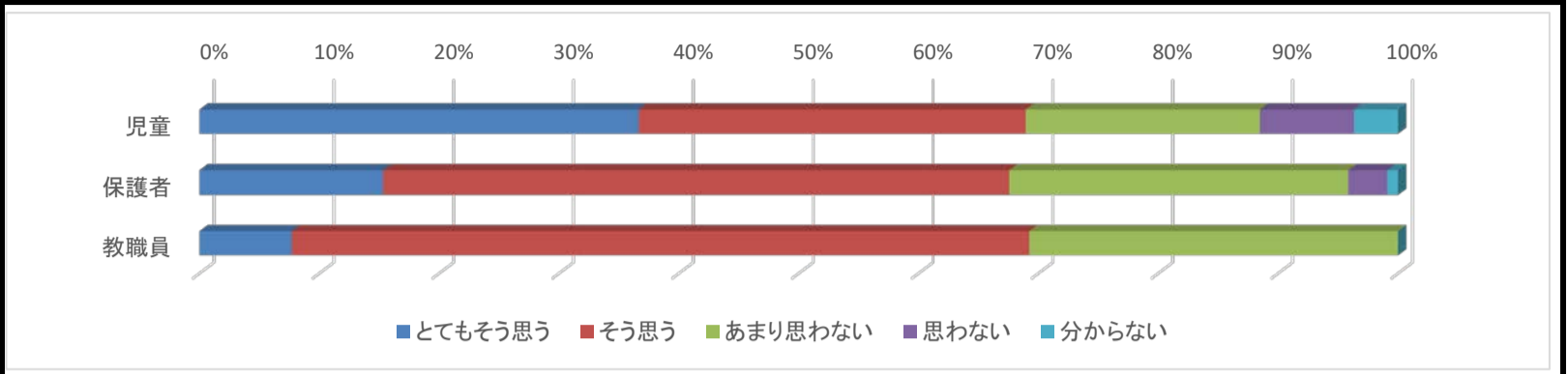
⑨【保護者】【教職員】子供は、相手の話をじっくり聴くことができる。
【児童】友達や先生の話じっくり聴いている。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	44%	45%	8%	1%	2%
保護者	13%	52%	29%	4%	2%
教職員	0%	58%	42%	0%	0%



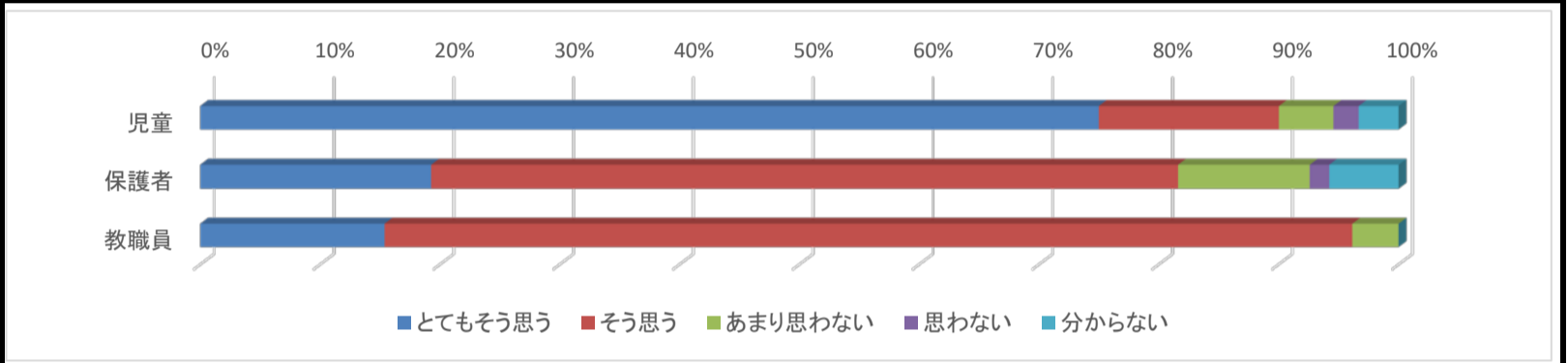
⑩【保護者】【教職員】子供は、自分の考えを伝えることができる。
 【児童】自分の考えを友達や先生に伝えられる。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	37%	32%	20%	8%	4%
保護者	15%	52%	28%	3%	1%
教職員	8%	62%	31%	0%	0%



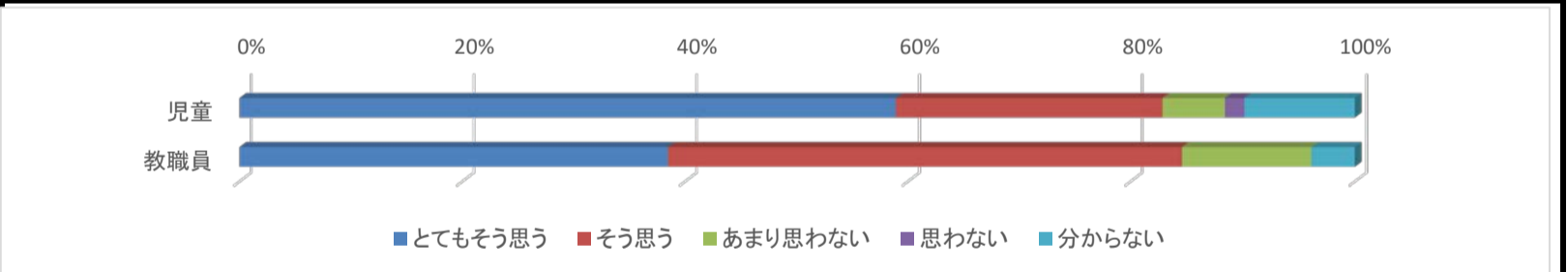
⑪【保護者】【教職員】子供は、友達との学習を楽しんでいる。
 【児童】友達といっしょに勉強することは楽しい。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	75%	15%	5%	2%	3%
保護者	19%	62%	11%	2%	6%
教職員	15%	81%	4%	0%	0%



⑫【教職員】子供は、授業中、パソコンやプロジェクターを使ったり、カメラ機能を使ったりして学習している。
 【児童】授業中、パソコンやプロジェクターを使ったり、カメラ機能を使ったりして学習している。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	59%	24%	6%	2%	10%
教職員	38%	46%	12%	0%	4%



考 察

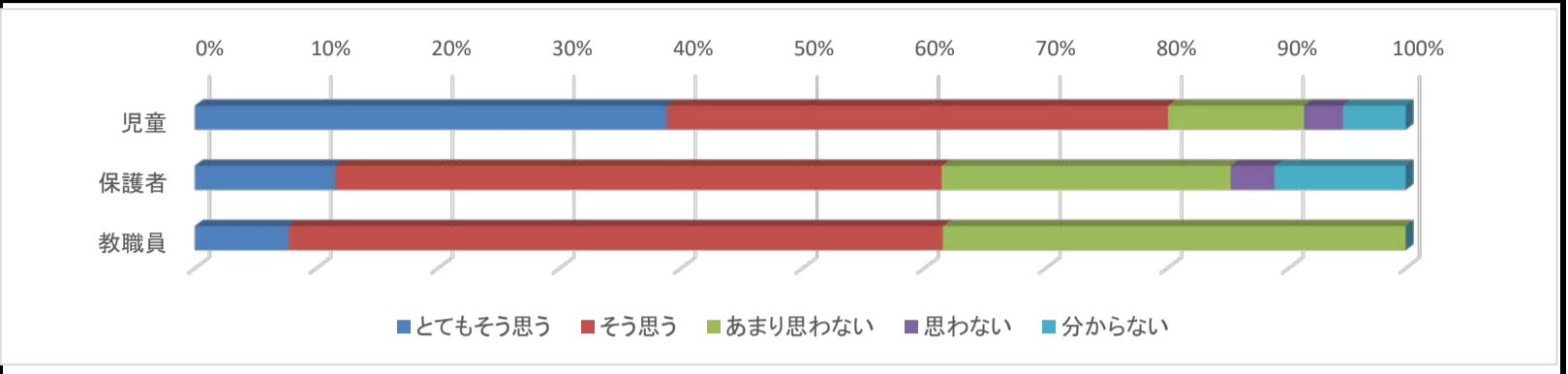
設問⑦を見ると、多くの子供たちにとって分かる授業が行われていると言えます。学校で過ごす時間の内、授業の時間が一番長いです。授業が分かり、楽しいことは学校生活が充実することにつながります。今後も、子供たちにとって充実した授業ができるよう取り組んでいきます。

ただ、設問⑩を見ると、話を聴くことについて、児童と保護者・教職員の評価に差がみられます。子供たちは聞いているつもりでも、相手がどんな気持ちで話をしているのかなど気持ちに寄り添う聴き方や、自分の考えと比べてどうかなど比較しながら聴くことなどについてまだ十分でないところがあります。保護者・教員の評価がやや低いのは、相手の話を聴くことが人間関係を築く上でも、学習を深めるためにも重要であり、身に付けてほしい力であることの表れだと思います。この結果を受け止め、授業の中でも聴き合うことを大切にに取り組んでいきたいと思っています。

3 学校教育活動について

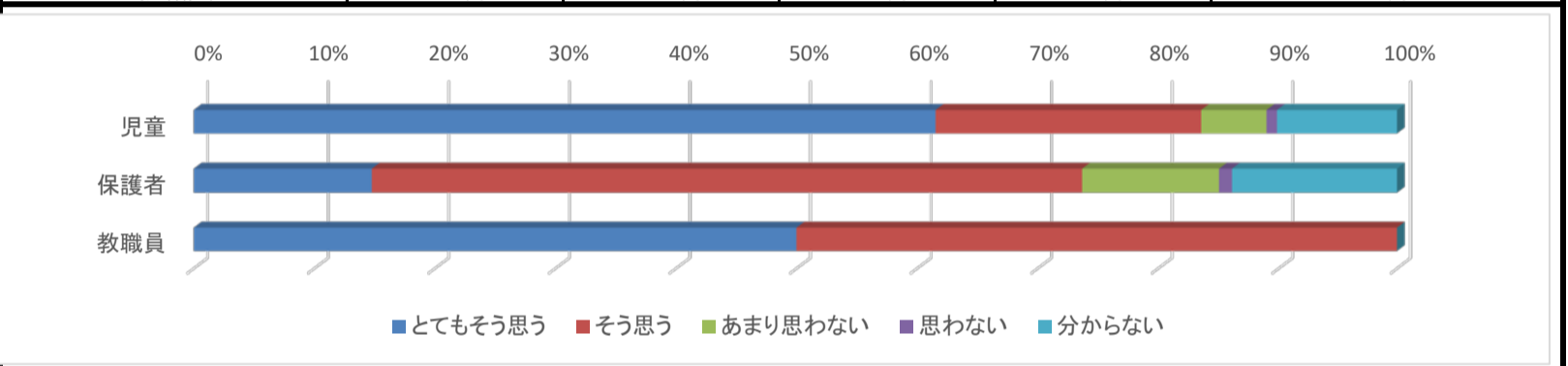
⑬【保護者】【教職員】子供は、「進んで行動 やさしい言葉」を意識して生活している。
 【児童】「進んで行動 やさしい言葉」を頑張っている。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	39%	41%	11%	3%	5%
保護者	12%	50%	24%	4%	11%
教職員	8%	54%	38%	0%	0%



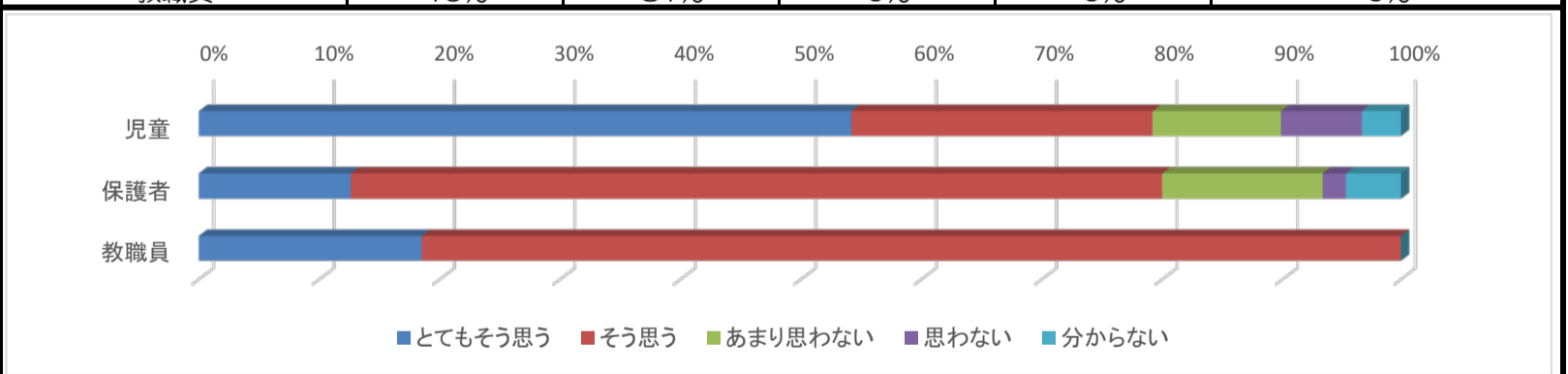
⑭【保護者】【教職員】学校は、子供の悩みや相談に親身になって応じている。
 【児童】先生は、困っていることや、悩んでいることをしっかりきいてくれる。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	62%	22%	5%	1%	10%
保護者	15%	59%	11%	1%	14%
教職員	50%	50%	0%	0%	0%



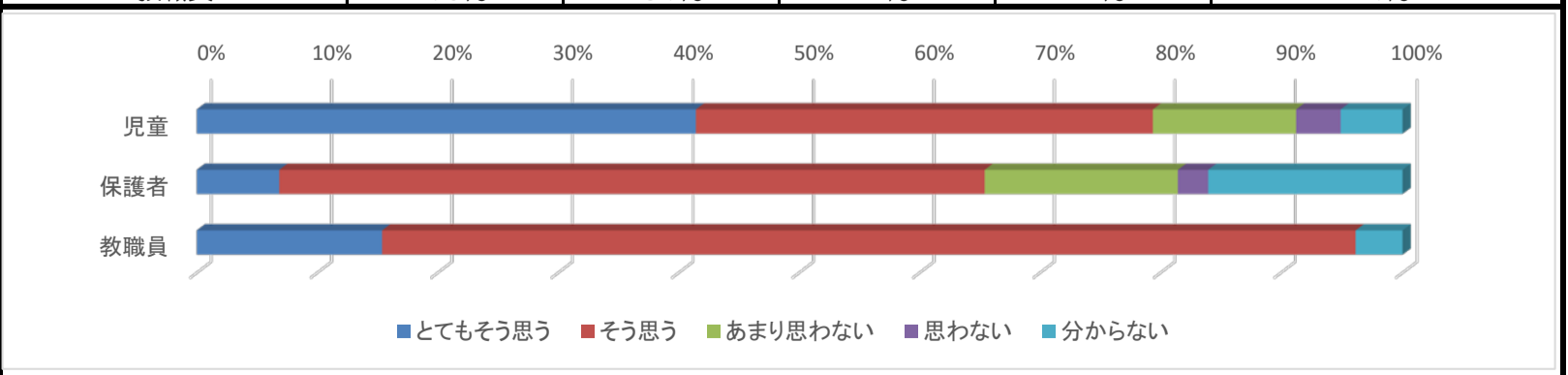
⑮【保護者】【教職員】お便りや担任からの連絡、学校行事への参加等により学校の様子がよく分かる。
 【児童】学校のことを、家でよく話す。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	54%	25%	11%	7%	3%
保護者	13%	67%	13%	2%	5%
教職員	19%	81%	0%	0%	0%



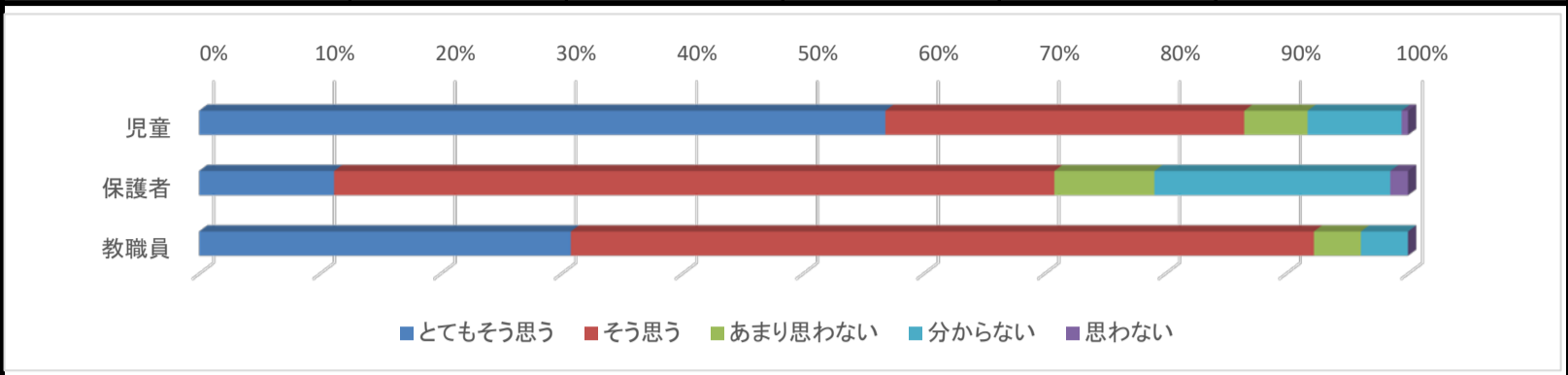
⑯【保護者】【教職員】学校行事はねらいがはっきりしていて、特色ある行事となっている。
 【児童】いろいろな行事に向かって、目標をもって頑張っている。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	41%	38%	12%	4%	5%
保護者	7%	59%	16%	3%	16%
教職員	15%	81%	0%	0%	4%



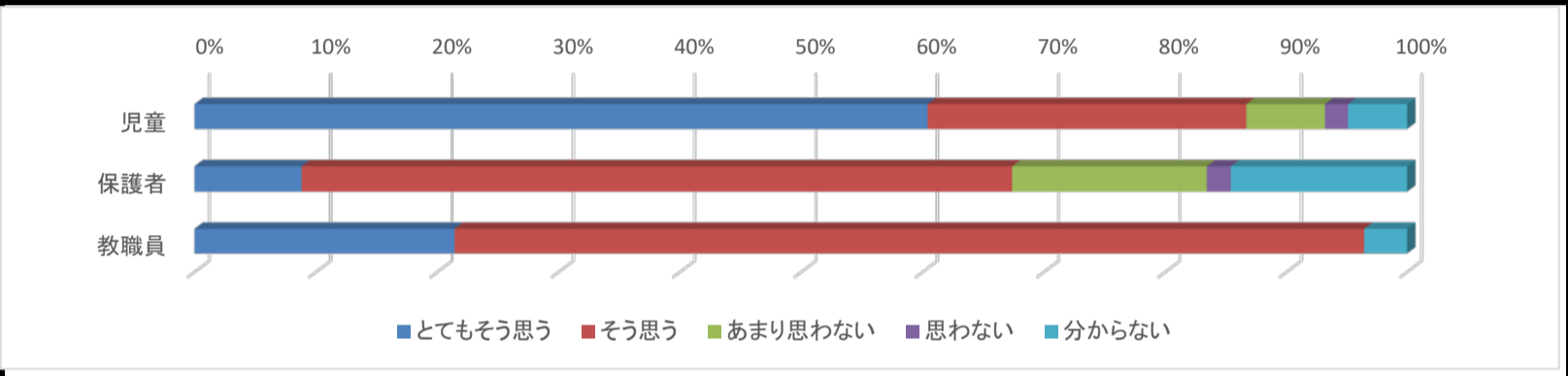
⑰【保護者】【職員】学校は命を大切にする教育を行っている。
 【児童】学校では、命を大切にする授業や活動を行っている。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	57%	30%	5%	1%	8%
保護者	11%	60%	8%	1%	19%
教職員	31%	62%	4%	0%	4%



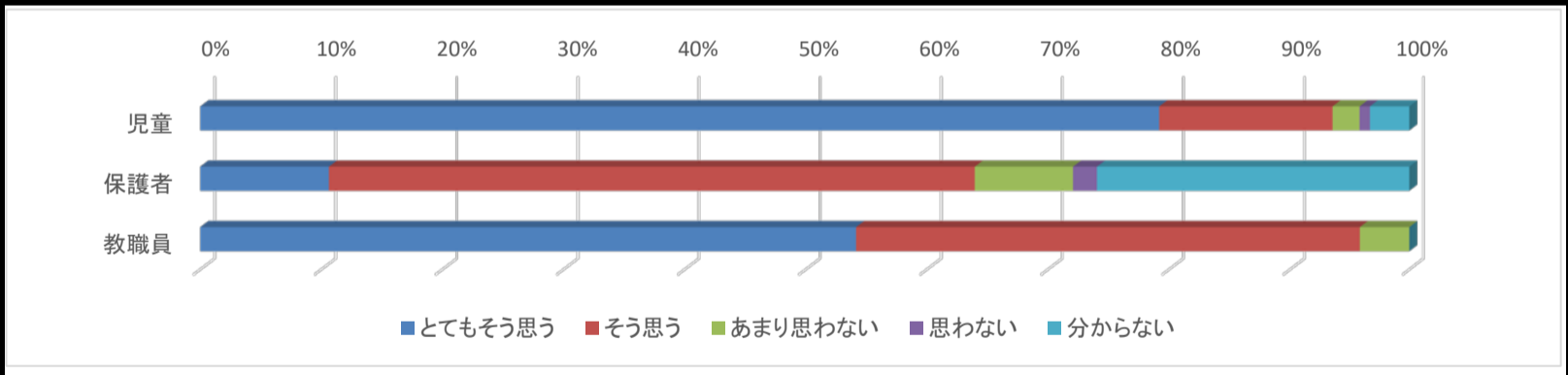
⑱【保護者】【教職員】学校の施設、設備は安全で、整備されている。
 【児童】学校は、安全・安心に過ごすことができる。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	60%	26%	6%	2%	5%
保護者	9%	59%	16%	2%	15%
教職員	21%	75%	0%	0%	4%



⑲地域の皆様や団体の方が子供たちや学校の教育活動に関わることは
 【保護者】【教職員】子供たちにとって良い効果が表れていると思いますか。
 【児童】あなたにとってよいことですか。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	79%	14%	2%	1%	3%
保護者	11%	53%	8%	2%	26%
教職員	54%	42%	4%	0%	0%



考 察

設問⑯を見ると、学校での様子をお便りや担任からの連絡、お子様からの話等で共有することが比較的できていることがうかがえます。一方でコロナウイルス感染予防のため、行事や教育活動が縮小や変更になっていることや、実際に参観していただく機会が少ないことなどから設問⑱の保護者の評価が低くなっていると捉えています。また、設問⑰の命を大切にする教育についてや設問⑲の地域の方の関わりなどについても、学校・学年だよりやCS（コミュニティスクール）だより等で周知し、保護者の皆様にも知ってもらえるように努めていきたいです。

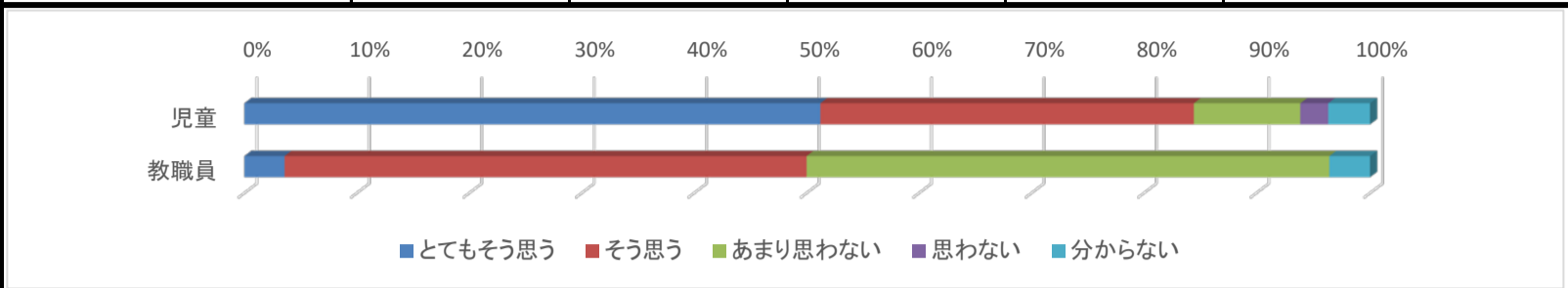
※「命を大切にする教育」とは

特定の教科だけで行うものではなく、道徳科をはじめ、国語、理科、体育、家庭科、総合・生活等の学習を通して、教科横断的に命の大切さや尊さを学んでいます。また、特別活動を通して低学年にやさしく関わることや、防災・防犯教育を通して自身の身を守る術を学ぶこともその一環として捉えています。さらには、いじめの防止や、やさしい言葉の推進等も命を大切にする素地を育むことと考え、学校全体で取り組んでいます。

4 小中一貫について

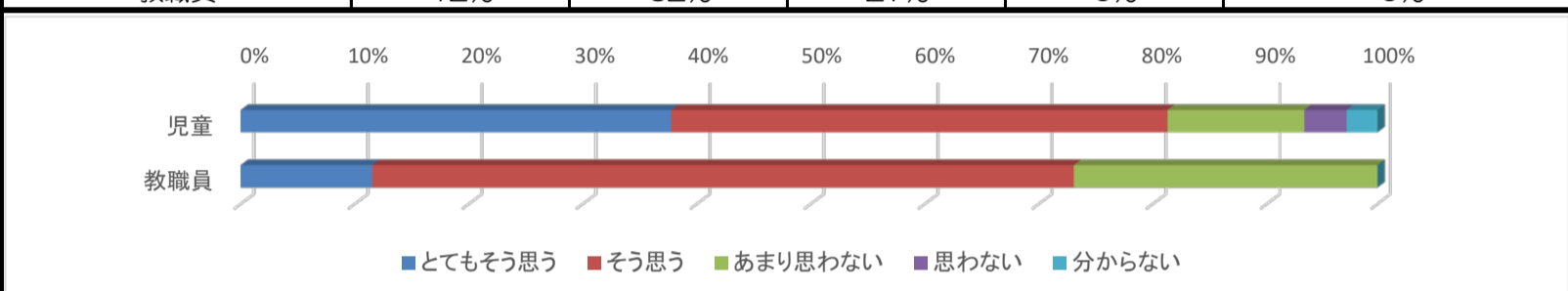
⑱【教職員】子供は、明るい挨拶ができています。
【児童】明るい挨拶ができています。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	51%	33%	9%	2%	4%
教職員	4%	46%	46%	0%	4%



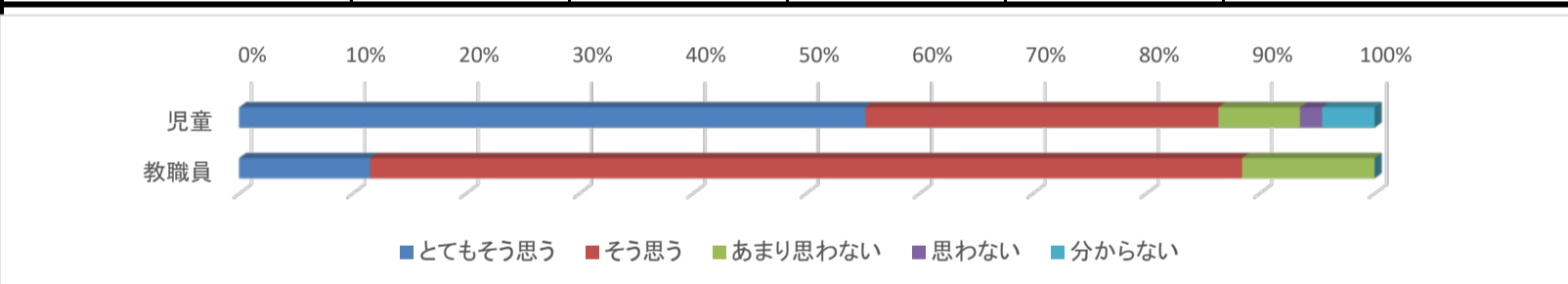
⑳【教職員】子供は、きれいな学校に向けて黙動清掃ができています。
【児童】きれいな学校に向けて、だまってそうじができています。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	38%	44%	12%	4%	3%
教職員	12%	62%	27%	0%	0%



㉑【教職員】子供は、相手の気持ちを考えた言動をとったり、学級の仲間と楽しく過ごしたりと絆を深めることができています。
【児童】友達の気持ちを考えたり、クラスの友達と楽しく過ごしたりと絆を深めることができています。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童	55%	31%	7%	2%	5%
教職員	12%	77%	12%	0%	0%



考 察

本年度は、コロナウイルス感染予防のため鷹岡中学校や天間小学校との交流行事が思うように行えず、大変残念に感じています。しかし、本年度も3校共通の目標であるスリースターは、それぞれの学校で推進しています。

本校では、「明るいあいさつができる」について、児童と教職員の評価に差がみられます。子供たち自身はあいさつができていますと感じていますが、自分から進んであいさつすることや、相手に伝わるあいさつをするという点において教職員はさらに良くなることを期待しています。また、保護者や地域の方からも、さらに元気なあいさつができるように期待するお声もいただいています。あいさつは心と心をつなぎ、コミュニケーションを深めていく第一歩であると考えます。今後も、進んであいさつができるようになるよう励ましていきたいと思えます。

コロナ禍がおさまり、また三校で交流できるようになりましたら、スリースターがますます輝く鷹岡中学校区になることを期待しています。

5 どんな子供にそだってほしいですか	こんな小学生になりたい
保護者	児童
①良い悪いがわかる子	①友達と仲良くできる子
②おもいやりがある子	②おもいやりがある子
③あいさつができる子	③自分のことが自分でできる子
④めあてに向かって頑張る子	④勉強がわかる子
⑤きちんとあやまることができる子	⑤良い悪いがわかる子

保護者の期待する子供像は、「自分の思いをしっかり持って判断し、進んで行動できる子」とであると分析しました。良い悪いが分かることはもちろん、自分や相手にとって、どんな行動をすることがよいか考え行動できる力を身に付けてほしいという願いを感じました。

子供たちは、友達と仲良く良い関係で過ごせることを強く望んでいます。次いで、生活面・勉強面において自立できるようになりたいと願っています。子供たちの優しさにより良くなりたいたいという向上心を感じました。

本校では、本年度「進んで行動 やさしい言葉」を重点にして教育活動に取り組んでいます。本校の目指す重点目標が保護者の皆様や子供たちと同じ方向性を持っていることが分かり嬉しく感じています。子供たちの成長のため、今後も保護者、学校が手を取り合いながら進んでいきたいと思います。

6 保者の皆様からのご意見等について

うちの子供が登校時に泣いていると「どうしたの？」と声をかけてくれた2年生の女の子がいました。また、下校時に迎えの家の人と会えずに泣いていたうちの子に付き添い、一緒に下校してくれた6年生の男の子がいました。1年生に親切にしてくれてありがとうございました。

子供たちの、学校外での良いあらわれを教えていただきありがとうございます。鷹岡小学校の子供たちは本当にやさしい子供たちが多いです。今後も、良いあらわれがありましたら教えてください。本人はもちろん、周りの子供たちや私たち教職員もうれしい気持ちになります。学校内外問わず、子供たちの良さを認め、励ましていけるようにしていきたいです。

学校だより、学年だよりなど学校からのお知らせはプリントではなく、webサイトに載せるなど、データでいただきたいです。ぜひ、ご検討をお願いしたいです。

子供たちも1人1台タブレットの時代になり、情報化社会がますます進んできています。お便りや連絡等につきましても、今後データ化していく必要性もあると考えています。また、コロナ禍で参観していただく機会が減ったため、学校での様子を発信していくことも大切なことであると考えています。

一方で、個人情報保護の観点からすべてをオンライン上に上げることができない状況があることもご理解いただくとありがたいです。

現在、鷹岡小学校のHP（ホームページ）には、学校だよりを毎月掲載しております。また、日々の様子ができるだけ掲載するよう取り組んでいます。今後もHPをより良いものにしていくために改良をしていく予定です。是非ご覧ください。

コロナの中、健康に気をつけながら大変であると思いますが、子供たちにとっての小学校生活はとても学びのある大切な時間だと思います。行事など中止する前に、やる為にはというように考えていただくとありがたいです。親もそのためには協力したいと思っているのでよろしくお願いします。

教職員も同じ思いです。子供たちにとって今の学級で行う行事は1度きりであり、特別なものであると思います。できる限りの感染対策を講じて、どの子も安心・安全に実施できる方法を考え取り組んでいきます。また、保護者の皆様のご意見やPTAの常任委員会の方々のご意見なども参考にしながら進めていきたいと考えています。ただ、今後の状況を予測することが難しい状況です。全ての子供が安全・安心して行うことができないと判断した場合は変更や中止になることもあることをご了承ください。

タブレットの通信機能によりトラブルが起きないか心配です。

3年生以上の子供たちは、夏休み明けの臨時休校や分散登校時のタブレット活用により、タブレットを使う技能が日に日に向上していることがうかがえます。保護者の皆様が心配されるように、SNSやネット上でのトラブルは全国で日々起こっています。便利な道具である分、使い方を誤ると大きなトラブルになる危険性があります。

学校では、「学習以外では使わない」というルールのもと、どのような使い方をしていけばよいか一緒に考えながら取り組んでいます。自分自身で判断して使い方を考えていく力は、これからの情報化の社会を生きていくために必要な力であると思います。とはいえ、トラブルが起きてからでは遅いです。学校でも、使用履歴を確認するなどの管理は行っていきます。ご家庭でも、「家族の前で利用する」「遅い時間には利用しない」等のルールを設けて行っていただくとありがたいです。

※その他、保護者の皆様からたくさんの御意見や御要望をいただきました。各部会や職員会議などで検討をしています。後期から取り組むべきことは早速取り組み、今後の教育活動への指針となる御意見については、検討の上、来年度の教育課程へ生かしていきたいと考えています。ありがとうございました。